

子ども・若者ワークショップ、
タウンミーティング、小・中学生の意見聴取
概要

【開催概要】

1 子ども・若者ワークショップ

- ・実施日：令和6年6月29日（土）
- ・会場：浦和コミュニティセンター第14集会室
- ・参加者：小学生2名、中学生3名、高校生1名、大学生5名の計11名
- ・テーマ：①大人に伝えたいこと、今、気になっていること、もっとうだっただらいいのにな！と思うこと
②子どもたちのために使えるお金があったら、どんなことに使ってほしいですか？
③みんなの好きな居場所、ホッとできる居場所はどこですか？

2 タウンミーティング

- ・実施日：令和6年7月～10月に各区及びオンラインの計11回
- ・参加者：中学生2名、高校生36名、大学生10名、大人134名の計182名
※学生は、39歳以下に限る。
- ・テーマ：子ども・若者は「1. 子ども・若者ワークショップ」と同様
大人の参加者に対しては、以下のとおり。
 - ・子ども・若者の意見をどう受け止めるか
 - ・子育て中に困っていること、配慮してほしいこと
 - ・子どもや子育てに優しい社会にするために、一人ひとりが取り組めること

3 小・中学生の意見聴取

- ・実施日：令和6年9月3日（火） ※オンライン
- ・参加者：小学5年生3名、小学6年生4名、中学2年生7名、中学3年生10名の計24名
（春野小7名、本太中4名、田島中6名、日進中3名、城北中4名）
- ・テーマ：「1. 子ども・若者ワークショップ」と同様

●子ども・若者ワークショップ、タウンミーティング、小・中学生の意見聴取における子どもの意見

テーマ①：大人に伝えたいこと、今、気になっていること、もっとこうだったらいいのにな！と思うこと

トピック	内容（詳細・理由・意見）
こどもの権利	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の正解を押し付けないでほしい ・ブラック校則（学校に行きにくくなるようなのは、やめるべき） ・女性がもっと生きやすく（働く人の身だしなみの緩和、髪色、ネイル、ピアスなど） ・学生時代はメイクするなど言われ、社会に出たとたんメイクは当たり前と言われた ・教育実習の時、ほぼすっぴんで行かされた（二重整形、脱毛、ダイエットなどの広告が多く、外見至上主義なのに） ・就職にあたり、依然として学歴が重要である。家庭の経済事情で大学進学は考えられないため、現状を変えてもらいたい。
意見表明・社会参画	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと今日のような会（ワークショップ）を増やしてほしい ・子どもの意見を尊重したら、次の子どもは楽しくなる ・子ども・若者ワークショップのような意見で出た意見を実現してほしい。（意見交換だけではなくて） ・子どもの意見を聞く機会は、これからも増やしてほしい ・子どもに積極的に意見を聞く姿勢を続けてほしい ・もっと子どもを巻き込むようなイベントを増やしてほしい ・目安箱を各図書館に子ども用として設置してはどうか ・政治を身近に感じたい ・政治に関する議論を活発に子ども・大人に関係なく意見交換したい ・若者の政治離れに危機感を持っている ・市議会についてあまり詳しく知る機会がない ・議会の内容について議員等からの説明、市民参加型公開討論会や学校で疑似議会の開催 ・さいたま市議会の透明化（中学～高校生に見学をさせることで意見に関する関心につながる） ・政治離れ解消としてアクティブラーニング（話し合いなど）を増やせば身近に感じ知識を得る学びにもつながる ・公園の利用ルール（ボール遊びなど）を地域の方々と当事者（子どもたち）が話し合う機会を設けてほしい ・市の土地を少し子どもに任せてほしい ・インターネット上での選挙 ・国際交流（在日外国人問題をみんなで考えたい） ・会談の機会をもっと設けてほしい ・市の政策の透明化⇒その目的（意図）が市民に伝わっていないのでは？ ・区の集まりについて、区が互いに個性を活かしあえていないのでは？ ・間接民主制の実態について、自分たちが選んだ市議会議員の考えとのズレ⇒市民（区）からの意見聞くような場が必要 ・市と県の関係はどうなっているのか（仲が悪いという話を聞いたことがある）
多様な体験・学び	<ul style="list-style-type: none"> ・1万円をためて投資したい ・学校でお金の勉強がしたい ・小さい時からお金に関する知識やモラルを身に付けておきたい ・お金や性についての教育をもう少し受けたかった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の性教育は、女性に関する内容が多い。もっと男性に関する内容をもっと扱って、お互いに知ることにより影響がある。 ・ボランティアについては興味があるものの、やり方がわからない。情報集約して発信してもらいたい。 ・学校で子どものコミュニケーション能力を育ててほしい ・小学校で人間関係プログラムを行っているが、引き続き中学校でも行ってほしい。 ・人前で話す機会をより多く設けてもらいたい。 ・避難所以外の防災を知りたい ・若者のネットリテラシーの強化 ・小学生のような小さい頃から AI などそのテクノロジーに触れる機会をより増やしてほしい。 ・小学生のような小さいうちから PC の使い方や、AI を使う上での倫理観や道徳心に関する教育をよりよく増やしてほしい。 ・アルバイト。どんなことが自分に合っているのか知りたい ・選択学校。自分で選んでやることに楽しそうと思ったから ・建築。自分で作ることが好きだから ・ジェンダー、発達障害の教育を 1 つの科目として義務教育で学べたらよかったと思う ・ジェンダーやマイノリティの人たちにスポットが当たり始めたので小中学生のうちから偏見をなくしてほしい ・献血の大切さと必要性をもっと広く伝えたい（授業等の学校現場で扱うと献血をしてくれる人が増えるのではないかな） ・グローバルスタディのおかげで英語力は上がったと思う。発揮する場がない ・子どもを持ちたいという余裕が生まれず自分のことで精いっぱいなので、「働き方改革」や「ICT 教育」に力を入れてほしい。
公園・遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・公園など市民が使用するような公共の場に自然（緑）がほしい ・公園でのボール遊びしたい ・外で遊ぶ子どもを見るのが減った（理由が気になる：スマホの普及？公園の規制が強いから？） ・空き地を子どもの遊び場にできたらよいな ・子どものさいたま市民の関りについて公園の大きさや場所は本当にこれでよいか、見直しをする必要はないか ・水のある公園が欲しい（カヌーなどができる） ・生活のすぐ近くに自然が欲しい（植物だけではなく鳥や魚と近くにいたい） ・秘密基地を作れる裏山が欲しい ・公園の規制緩和（地域からのクレームを聞くだけではなく討論などをしてみては？） ・屋内の公園スポーツセンターのような施設をつかってほしい。 ・真夏と真冬の遊び場として、小学校とか中学校の校庭とか体育館の解放など活用できることがないか考えてほしい。 ・子どもの遊ぶ場所を増やすため、公民館等を子どもに使いやすくしてほしい。 ・公園でのボール遊びについては、ある程度規制の緩和が必要だと思う。 ・室内遊び場など真夏の遊び場を増やしてほしい。常盤公園が整備により日陰が少なくなり、日中遊べる時間が減ってしまった。 ・沼影市民プールに代わる別のプール施設がほしい。 ・通学経路を見ても公園そのものはあると思うが、利用者が少ない公園も多いので、原因を考え、改善していくことが必要だと思う。
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと児童館を各学校につかってほしい ・子どもが子どもを保育する場所 ・広い園庭のある幼稚園・保育園 ・未就学から高齢者までみんなで学ぶ場所 ・室内の遊び場だったり、居場所を確保してほしい

	<ul style="list-style-type: none"> ・学習できる場所、運動できる場所、遊べる場所、世界を広げられる場所、好きなことを思う存分できるという場所があれば良い ・子ども向けの自習やサークルなどグループ活動、それとか楽器やバンド活動ができるような枠組みを作った方がよい。 ・児童センター 中高生主体のものを作ってほしい
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・派閥・グループがより明確になってきたからコミュニケーションをどうとっていくか ・子どもが地域の大人と関わる機会として、ラジオ体操を実施してはどうか。 ・地域のボランティアや畑仕事の手伝いなどにさいコインをやりとりすることで、地域のコミュニティが活性化するのではないか。 ・小6から中1の「つぼみのひ」を学年で区切るのではなく幅広く交流したい。災害や事故の時など助け合えることにもつながる。 ・年代をまたいで広くかかわることも大切だと思う。例えば、子どもが老人ホームを訪問するなど。
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・部活の時に電車代がかからないようにしてほしい ・学校のタブレットで休み時間に好きな動画を見られるようにしてほしい ・休み時間をもっと長くしてほしい ・給食の時間を長くしてほしい ・パソコンの充電を1日もつようにしてほしい ・質の高い教育（学校同士での関りなど）の提供 ・先生が働く環境改善 ・男女別学も選択の一つとして残してほしい ・1, 2時間目のなどの休み時間が10分から5分に短くなった ・パソコンの使い方。1年のときにくばられて使い方を少ししか教えてくれなかったから ・パソコンでなくてもスマホでいいと思う ・小学校では単元が終わった後だったけど中学校では中間と期末にわかれているのはなぜか ・教員不足の現状（教員になろうと考えているから） ・ICTってどれくらい進んでいるのか気になる（通信課程について気になることが多い） ・授業中の生徒の消極化（理由と改善できるか考えたい） ・もっとピンポイントに教えてほしい ・ノートまとめのためにボールペンを持ってきたい（みんながきれいにノートまとめをするようになる） ・もっと学校行事を増やしてほしい ・遊具のバリエーションを増やしてほしい ・児童会室をかたづけたり広くしてほしい（代表委員会の仕事が行いやすくなる） ・わくわくランドの遊具をもっと増やしてほしい（遊具で並ばずに遊べる） ・勉強ももっと詳しく教えてくれたら頭が良くなる ・教員不足解消として免許取得プロセスを簡単にしてほしい ・生徒の消極化解消として評価基準の発表の比重を大きくしてほしい ・もっとバス・電車代が安く成ればいいのになあ（大学生は時間はあるがお金がない、気軽に旅行とか行きたい） ・学費がもっと抑えられたらいいのになあ（留年、心苦しい、大学生活は勉強以外でも充実させられる） ・大学の助成金だけではなく大学院の助成金をもっとあるといいのと思う（院卒や修士を増やすべき） ・学校における熱中症対策をしっかりしてほしい。 ・教員不足により、学校行事等の縮小をしないでほしい。 ・車いすやけがをした人のため、学校にエレベーターやスロープを整備した方がよい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みを減らす又はなくし授業時間を平準化することで、子どもたちの生活リズムが整い、授業に集中できる。 ・先生によって、授業の内容等のクラス差が激しい。
ライフプラン	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の未来について考える手助けとなるような時間（教育）がほしい ・学生の中から仕事のキャリアプランを考える際の1つの材料として、市のことを知る機会やイベント情報があったら良いと思う ・若いうちの妊娠・出産に悪いイメージをもつ人が多いことがあるので、知識を小中学生のうちからつけることが必要。 ・自分のライフプランを立てていく上で、子供を産み、育てることに一歩踏み出すにあたって、性に関する知識は必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の体力強化 ・「埼玉」と言えばっこれ！お土産やグルメはあるのか ・増えてきたジェンダーが絡む犯罪の対策をしてほしい ・与野の中央公園アリーナは、なぜ始まって意見が分かれているのか（与野の町中に反対の看板があった） ・荒川や見沼の自然は、これからも守れるのか？（自家用車から脱却できるのか、どうやって？） ・どうやって「鉄道のまち」を生かすのか？（大宮らしさは、どうやって作れるのか） ・不登校、ひきこもりの増加 ・子どもの性犯罪の被害 ・埼玉が地元、働く場所として決め手がない（就職・大学院進学、留学） ・ハッキングによる被害が出ている（サーバーダウンなど）、もっとIT人材の教育をすべきと思う ・埼玉高速鉄道はどうなるのか（開発予定を信じて引っ越してきた市民はどうなるのか） ・浦和美園駅周辺の交通機関はどう改善するのか（バスの増加？） ・5km程度を移動するためのモビリティ（自転車専用道路、東西に延びる地下鉄、路面電車、モノレールなど） ・区同士の競い合いをやめて各区の良いところを出し合ってみる（気づかなかった各区の良さが見つかる） ・他県や他自治体との意見交流や視察をすることでさいたま市の良い点、悪い点を把握する（他政令市との連携） ・教育採用試験の倍率が低くならないかなあ（高倍率だとモチベーションがあがらない） ・扶養内でも103万以上稼げたらいいなあ（お金を気にして我慢している人も多い） ・賃金が上がればいいと思う（税金や物価上昇でも賃金はそのままだと苦しく感じるのかも） ・もっと駅や公共施設のトイレが新しければよいと思う ・特にタクシーやトラック・バス等のドライバー不足（ドライバーをウーバーのように副業として扱うのも方法） ・生活保護制度の見直し（ギャンブルに使用している人もいるので条件や額を見直す、より厳しく） ・親子で使える子どもトイレ、家族更衣室を増やしてほしい ・多目的トイレを増やしてほしい、ジェンダーギャップに配慮してほしいというのが理由で。 ・子どもの情報を一元化してほしい。手続きの度に情報を記載するのが大変なため、マイナンバーで紐づけるなど、簡略化してほしい。 ・自殺願望のある人の声を聞くゲートキーパーなど必要

テーマ②：子どもたちのために使えるお金があるとしたら、どんなことに使ってほしいですか？

トピック	内容（詳細・理由・意見）
学校・部活	<ul style="list-style-type: none"> ・部活で移動する電車代は無料にしてほしい（部活で違う学校に行くことが多いから） ・校庭開放、部活などで使える場所を広くしてほしい（いろいろな部活がいついかにできる） ・校庭をもっと広くしてほしい（みんなが外で遊ぶようになる） ・校舎の古いところを直してほしい（こわれる心配がないように） ・学校のリフォーム ・学校の地図を作って校舎内に貼ってほしい（学校に来た人が迷わないように） ・各学校に1つくらいスヌーズレンがほしい ・学校などでVRゴーグルの貸し出しをしてほしい ・電気代の高騰、学校の用具（よりよい環境で学習することで学力向上） ・小中高で自然と触れ合えるような時間を大切にする（植樹、学校に花を増やす） ・学校に政治や行政を学ぶイベントにより将来的な選挙投票率の上昇につながる ・中学、高校で外部からの授業委託により教育の質の向上、教育格差の是正 ・ICT技術を全学校に設置 ・中学校と同じように、体育館のエアコンを市立私立問わず高校にも設置してほしい ・プールに屋根がほしい ・体育館や理科室にクーラーがついていない ・冷水器を各学校に設置してほしい ・学校内にエアコンを増やしてほしい、生徒自身の安全につながる ・タブレットが授業中に固まることが多いので、より授業に適した機種にしてほしい。 ・校舎の修理・修繕 ・更衣室がほしい ・エアコンの増設 ・登下校の暑さ対策をしてほしい。クールオアシスが通学路にない。 ・学校のトイレを改修してほしい ・地震などの災害に備える避難グッズがほしい。学校ごとに災害に備え、食料や飲み物などが欲しい ・部活でボールが見えなくなるため、草刈り機がほしい ・タブレットPC修理の時に全員分がない。不足分を補充してほしい
制度・援助等	<ul style="list-style-type: none"> ・学費の無償化、教育の質の向上、親の負担軽減 ・市民の金銭面での教育補助 ・小学校の給食費（他のことにお金が使えればよりよい環境で学べる） ・塾、教材に使えるお金（クーポンなど）、貧しい家庭の子どもにも学習の機会を与える ・高校の公立、私立にお金を使ってほしい（東京都は高校無償化だが公立からは不満、完全無償ではなく値下げ） ・教育費、医療費など子どもに関わる費用の免除や減額（子育てしやすい・したいと思えるように） ・私立高校、大学に通う学生の学費や教材費（金銭的なことで私立に行けず、やりたいことを断念する学生も多い） ・服や生活用品がかえない子どもに生活保護のような仕組みで支援してほしい

	<ul style="list-style-type: none"> ・使えたいときに使える給付金を県内・市内の学生に準備してほしい ・高校の学費無償化 ・さいたま市は英語の教育に力を入れているが、英語検定など役に立つ検定などにお金の補助があったらよい ・学費減免・免除 ・図書カードの無償配布、本は人の個性や価値観を豊かにすることができる ・教員の給与をアップ（部活動も給料に含むとなれば教員になる人が増える） ・学童をもっと充実させる（保育園を少しずつ増やせば待機児童を少なくできる） ・子ども食堂の支援金に少しでも回してほしい。 ・子育て支援医療費 ・地域の大人同士が交流する機会や場の提供。 ・図書館に行くための交通費をゼロにしてほしい。 ・進学費用等の負担を軽減し、より多くの人が学ぶ機会を得られるようお金をつかってほしい。 ・外国人向けの子育ての相談先や支援センターなど作ってほしい。
遊び場・公園	<ul style="list-style-type: none"> ・プール、公園、ブランコがほしい（学校近くにあると笑顔が増える） ・子どものスポーツにもっとお金を使ってほしい（ボール遊びができる公園や広場の整備） ・まちで公園を見かけない（今の子どもたちはどこで遊んでいるの？走ってボール投げて蹴って遊べる場を） ・公園にミストが出る ・日陰になる大きい屋根があるベンチ ・熱中症対策された公園がほしい、日陰など。 ・広々とした公園がほしい、ボール遊びができる場所をもっと増やしてほしい
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、児童館、売店をつかってほしい ・虐待や心理的に家にも居たくない子どもの心の避難所をつくる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に児童相談所で一時保護を受けたことがある。その中で、学校との連携をもっと充実させてほしい。

テーマ③：みんなの好きな居場所、ホッとできる居場所はどこですか？

トピック	内容（詳細・理由・意見）
自宅	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でケンカしたとき話を聞いてくれるから。いっしょに喜んでくれるから。 ・1人で居たいときや静かにしたいとき ・自分の部屋。自由 ・家の階段。座っていると何も考えなくなるから ・お風呂場 ・信頼できる家族がいる
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・家でケンカしたとき友達と話す気分転換になる ・友達と一緒に話せるから ・図工室。図工が好きで教室からも近いから ・パソコン室。パソコンについて教えてもらえるから

	<ul style="list-style-type: none"> ・今も部活指導で高校へたまに行っている ・小中高の長期休業の際の開放（旧友と合えたり懐かしんだりできる） ・大学のゼミ室・学習室。・友達もいて、ひとりじゃないという安心感がある ・家で生活するよりも学校で生活する時間のほうが長い。 ・図書室（1人で落ち着ける） ・教室（友達とコミュニティを築くことができる） ・保健室。話を聞いてくれる人がいる
公園・ 緑の多い場所	<ul style="list-style-type: none"> ・参道 ・緑が多い場所を散歩する ・桜区役所の桜並木。車が通らない、静かでのんびり散歩ができる ・秋ヶ瀬公園。富士山、スカイツリー、朝焼け、夕焼け、一人になりたいときやストレス発散に最適 ・大宮公園。緑が多くてかわいい鳥が多いため
施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センター。だいたい何でもできる。 ・図書館。本を読んだり、静かに勉強したりできるから ・大宮図書館。新しくインテリアも素敵でくつろげてスペースも多いので利用している。階段ベンチ ・埼玉スタジアム。サッカー観戦で盛り上がる ・自習室。大宮図書館のような、自由に使える公共の自習室がほしい ・カフェ ・トレーニングジム。意外と地域の人や高齢者と交流ができる ・学童や児童養護施設。子どもたちとの交流の場を作る
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の家。 ・ミニさいたま。学校とは違った空間で社会体験をしつつコミュニケーション能力もつけられる ・ボーイスカウト。けがの手当てや野営を学ぶ ・バイト先 ・子ども食堂。・子ども、高齢者などが楽しく話ができる空間、不安や悩みを相談できる ・家の近くの人と話す（より話しやすい、共感しやすい、協力し合える） ・自治体のイベント等に参加 ・知人や顔見知りの人がある環境（近所の住民宅など）親が不在時の行先や、親の喧嘩などで家の居心地が悪い子の避難先になる。 ・おばあちゃんの家 ・涼しいところ。自律神経が調節されてリラックスできる ・SNS

●大人の方からの意見（抜粋）

テーマ 子ども・若者の意見を、社会全体で どう受け止めるか、どのようなことができるか？

子育て中に困っていること、配慮してほしいと思うこと

子どもや子育てに優しい社会にするために、一人ひとりが取り組めること

トピック	内容（詳細・理由・意見）
<p>・子ども・若者の意見を、社会全体で どう受け止めるか、どのようなことができるか？</p> <p>・子育て中に困っていること、配慮してほしいと思うこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うるさいという近所の人が増えてきた。社会の受け入れが重要。 ・ボール遊び禁止など掲げているところが多い。ルールについては考えるべきことが多いのではないか。 ・子育てが大変というイメージが強すぎる。子どもの日々の成長を間近で見られるなど良いことはいっぱいある。 ・親子の絆の取組、親へのケアというものに焦点を当ててほしい。 ・休日や夜間に働いている人もいるので、柔軟な保育制度があるとよい。 ・未就学児が炎天下で遊ぶのは危険なため、室内遊び場を増やしてほしい。 ・支援センターは、対象年齢0～2歳の制限があるため、兄弟と一緒にいけないことがある。何か対策してほしい。 ・新生児育児中、なかなか寝られないことが大変だった。長期間母親が休める場所ができたらよい。 ・子育てについて細かいことはアプリを使ってそれに対応してくれる仕組みがあると便利。できればプッシュ型を希望。 ・今は父親が主体的に育児にかかわる場面が増えてきている。足りないのは父親同士のコミュニティ。父親同士をつなげるような取組をしてほしい。 ・残業のない職場や、育休取得推進といった職場での風土づくりが必要。 ・ファミサポや子育てヘルパーなどの制度を知らない親が多いため、もっと認知度を上げる努力が必要だと思う。 ・貧困の人たちは塾に行けない、自己肯定感を持っていない10%の人たちのためにやる必要がある ・自分の子育てが終わって、何か役に立ちたいと思っているが、どうすればいいかわからない。そういう人が気軽に集まってディスカッションできる場を市で設けてほしい。 ・小学校に公設民営の学童クラブを必ず作ってほしい。3年生まではそこで受け入れるようにしていただきたい。

- ・小学生の放課後対策にファミサポを活用するとよい。ファミサポについて、DX化をしてほしい。
- ・学童不足を感じている。指導員不足、安心して預けられる場所がほしい。
- ・保育園の資料など紙資料が送られてくるが、DXして、メール等データでの送付としてほしい。
- ・妊娠前からライフビジョンができていない人が多い。自分のライフステージ考える機会を中・高校生にも与えて考える機会をつくってほしい。
- ・助産婦さんとコミュニケーションを取る機会が欲しい
- ・プレーパークのような色んな大人が見守れる場が増えてほしい
- ・成長期に自然の中で遊ぶことが大切だと思う。身近に緑がたくさんあり、自由に遊べる広い公園を作ってほしい。
- ・高校生になると、教科書代や制服代、部活動にかかる費用などの負担が大きい。例えば、部活動の遠征にかかる交通費の補助などがあったらよい。
- ・ひまわり学園は未就学児のみで小学生以上は対応してもらえない。就職に関し、障害者支援センターに相談すると18歳以上でないと相談に乗ってもらえず、相談先が限られてしまう。ライフステージに沿った相談対応体制を。
- ・親の負担が大きいから、子を産めない。負担軽減を図る必要がある。
- ・第3子よりも第2子支援をすべきでは。
- ・乳幼児期の支援は充実しているが、小学校以上になると支援が足りていない。親の年収によって、子どもが受けられる教育が違うのはいかなものか。税金が増えていて手取りも減っている。所得制限の撤廃を来年からでも行ってほしい。
- ・不登校等児童生徒支援センター（Growth）を利用させてもらって助かっている。フリースクールに通いたいが、料金が壁になる。助成金を検討してもらいたい。
- ・着替えの時に小学校では3年生から男女分かれていた。中学校では時間の関係で同じスペースで着替えている。
- ・部活総額4万円入学時の制服と合わせて10万円以上かかる、部活も体育着で良いのでは？
- ・高校生の子どもがいるが朝起きられない。病院に行こうと思ったが、高校生から初診を受けられるところがない。
- ・出産前だけでなく、出産後のサポートも手厚い病院があると安心。
- ・子どもが体験できる取組を増やしてほしい。幼児期に体験機会を増やしてほしい。

<p>・子どもや子育てに優しい社会にするために、一人ひとりが取り組めること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で実施しないようなことについては、市民活動で行うべき。子どもと一緒にワークショップを行っているが、教えるのではなく、一緒に考えるととてもいい意見がでる。そういった機会が多くあるとよい。 ・自治会に加入するなど、住みやすい地域をつくるためには、自分も参加することが必要だという意識が必要 ・地域の大人の力を借りて体験活動をする「チャレンジスクール」を市内全小中学校で実施しており、子どもからもボランティアで参加する大人からも大変好評。そうした取組により地域の絆を育むことが重要。 ・子育てが終わった方や知識のある方などもっと活用してほしい。 ・青少年が集まる場所を増やす必要がある。児童センターでも会話する時間を増やすよう努めている。9割は他愛のない話であるが、子どもたちの本音があふれているためそのような場が必要であると考えている。 ・子どもの意見を受け止めるにあたっては、子ども時代の1年は大きいので素早く対応してあげることが重要。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少子化なのは、「経済的」なものがあると思う。子どもを持つ余裕ができない。 ・結婚や出産に踏み切れない方が多いのは、可処分所得が低いことが要因となっていると思う。若い世代の可処分所得を増やすため、減税や還付などの措置があったらよい。 ・多世代交流というと高齢者と子どもで行うことも多いが、若い世代も交流できるような機会があるといい。 ・教員の負担を軽減するための、相談等に対応する教師コンシェルジュがいるとよい。 ・LGBTQに関する教育は必要であると思うが、小学生などの心の柔らかい時期に行うのは控えてほしい。 ・子どもの居場所として、図書館の有効活用や充実してほしい ・子育て政策にかかる財源をどこから得るのか。子育て世代や若い世代に負担を求めてしまうと意味がないのでは。 ・幼稚園・保育園両方はいらない。3歳までは家庭で育てるべき。 ・交番以外で駆け込み寺みたいのをつくる、逃げ込める場所をつくるのはどうか。 ・年少人口が連続1位なのは素晴らしい。一方で、女性の人口が減少しているのは心配。 ・高層マンションが増え、(＝急激な転入増) 将来どうなるか心配。大宮南小など、児童が入りきらず、仮設校舎で対応しているような状況。もう少し人がゆるやかに増えるような、ブレーキをかけるような施策が必要なのは。